

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第168号	
事故等種類	火災	
発生日時	平成21年6月22日 09時24分ごろ	
発生場所	神奈川県横須賀港東北防波堤東灯台から真方位007° 2.39海里付近 (概位 北緯35° 21.50′ 東経139° 40.98′)	
事故等調査の経過	平成21年6月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	巡視船 あしたか、197トン	
船舶番号、船舶所有者等	134977、国土交通省	
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	中央主機左列過給機排気入口管防熱材表面一部焼損	
事故等の経過	本船は、平成21年6月22日09時00分ごろ、15人が乗り組み、横須賀港を出港して北進中、09時24分ごろ、第二主機関室の火災警報が作動し、中央主機左列過給機排気ガス入口付近に火災を認めたので、消火器による初期消火を行い、09時30分ごろ、鎮火を確認した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本事故は、中央主機（以下「主機」という。）の左列過給機（以下「過給機」という。）の排気ガス入口フランジと主機排気集合管フランジの合わせ面（以下「フランジ部」という。）のガスケットパッキンから主機排気ガス（以下「排気ガス」という。）が漏洩し、フランジ部を覆っていた防熱材の表面に付着するようになった排気ガス中の未燃カーボンが、漏洩していた高温の排気ガスに晒されたことによって発生した可能性があると考えられる。 フランジ部から排気ガスが漏洩するようになったのは、ガスケットパッキンを締め付けるフランジ締め付けボルトが均等に締め付けられておらず、機関振動等を受けて緩んだことによって発生した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が横須賀港沖を航行中、過給機のフランジ部から排気ガスが漏洩したため、同フランジ部を覆っていた防熱材に着火したことにより発生した可能性があると考えられる。	